

## 第2回 新潟市巻ほたるの里公園及び新潟市ほたるの里交流館 指定管理者申請者評価会議 議事録

### 1. 開催日時

令和2年10月20日(火曜日) 午後1時30分から午後3時10分まで

### 2. 会 場

西蒲区役所A棟2階 応接室

### 3. 評価会議委員（順不同）

桐生 法子（あさひパートナーズ税理士法人 税理士）

松川 義明（社会保険労務士まつかわ事務所 社会保険労務士）

山口 誠二（公益財団法人 新潟観光コンベンション協会 専務理事）

小田 敏博（一般財団法人 新潟経済社会リサーチセンター 常務理事）

長井 正雄（西蒲区自治協議会 会長）

### 4. 傍聴者

0人

### 5. 議 題

- (1) 指定管理者申請者によるプレゼンテーション（公開）
- (2) 質疑応答（公開）
- (3) 意見聴取（非公開）
- (4) 評価・採点（非公開）

### 6. 会 議

#### 【開会】

（司会）

定刻となりましたので、ただ今から「第2回新潟市巻ほたるの里公園及び新潟市ほたるの里交流館指定管理者申請者評価会議」を開催いたします。

開会にあたり、産業観光課長よりご挨拶申し上げます。

#### 【産業観光課長挨拶】

（産業観光課長）

産業観光課長の渡部でございます。

皆様、本日はお忙しい中、この評価会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

去る8月の第1回評価会議におきまして、皆様方から業務仕様書や募集要項等ご確認いただきました。その内容を元に公募しましたところ、現在の指定管理者であります株式会社福井開発1者からの申請がございました。

本日は、指定管理者申請者のプレゼンテーションをお聴きいただきます。その内容に基づいて、皆様方から評価、採点を行っていただきます。市としましては、本日の評価会議の結果等を参考といたしまして、指定管理者候補者を決定いたしますので、評価委員の皆様におかれましては十分にご審議いただきますとともにお願いいたしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(司会)

議題に入る前に、ここで資料の確認をお願いいたします。

まず次第です。そして指定管理者申請者評価シート、それから、事前にお送りしております、申請者から提出された申請書一式の緑色のファイルをお持ちいただいておりますでしょうか。

なお、申請書類一式のファイルは、会議終了後に回収いたしますので、お持ち帰りにならないようお願いいたします。

それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきますが、今回の評価会議は委員長を選任しないことから、進行につきましては課長のほうで務めさせていただきます。

それではお願いいたします。

### **【評価会議の概要説明】**

(産業観光課長)

それでは、次第の3「会議の概要説明」に入ります。事務局より説明願います。

(事務局)

産業観光課の石塚です。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議の概要についてご説明いたします。

傍聴人は希望者なしとなりました。

会議の流れといたしましては、まず、指定管理者申請者による募集計画等のプレゼンテーションを30分程度お聴きいただきます。その後、質疑応答を15分程度行います。質疑応答が終わりましたら、申請者に退出していただいてから、委員の皆様方から意見聴取を行います。その後、お手元の評価シートに採点をしていただきます。採点の結果はすぐに集計を行い、採点結果をお知らせしまして会議終了となります。

なお、本日の会議は、会議録を作成するため録音させていただきますのであらかじめご了承ください。以上で会議の概要について説明を終わります。

(産業観光課長)

ただ今の説明の中で、ご質問等ありましたらお願いいたします。

(質問なし)

## **(1) 指定管理者申請者によるプレゼンテーション**

(産業観光課長)

ないようでしたら、議題に入らせていただきます。

次第4、議題の(1)指定管理者申請者によるプレゼンテーションです。

申請者の入室をお願いします。

(株式会社福井開発入室)

(産業観光課長)

申請者の皆さま、準備はいかがでしたでしょうか。

(株式会社福井開発準備終了)

(産業観光課長)

プレゼンテーションは、30分以内でお願いいたします。また、評価委員の皆様におかれましては、プレゼンテーション終了後に質疑応答の場を設けますので、質問事項等がありましたら、プレゼンテーション終了後をお願いいたします。

それではプレゼンテーションを始めてください。

(株式会社福井開発によるプレゼンテーション)

## **(2) 質疑応答**

(産業観光課長)

ありがとうございました。それでは、議題(2)質疑応答に移ります。プレゼンテーションの内容につきまして質問やご意見はありますでしょうか。

(小田委員)

収支計画の中で、タオル料金の原価が83円をタオル代減額の分だという形で、経費が削減されるというご説明があったのですが、現行料金の収入の部分では元々83円をオンした形で収入として入ってきて、そこからマイナスされるというか、タオル分が引かれていくということになりますので、収支という観点で考えた場合では、むしろ金額、料金が下がることによって、収支全体を考えた時には若干マイナス要因だという考えでよろしいのでしょうか。

(株式会社福井開発)

収支としてみれば、タオル代を抜いた1人当たりの大人の売り上げとしては717円になります。それが680円になりますので、その分は売り上げが下がるということで、おっしゃるとおりだと思います。

(小田委員)

タオル代を減額するというのは、元々は現行料金だったら、その部分については経費としてオンされていたということによろしいわけですね。

(株式会社福井開発)

そうです。

(小田委員)

分かりました。ちょっとそこが、最初タオル代が単に減額されていると言われますと、実際には現行の料金の中で、もうタオル代はオンされているものなのだから、変わらないんじゃないのかなと、ちょっと思ったものですから、ちょっと質問させていただきました。

(株式会社福井開発)

説明不足で申し訳ありませんでした。

(小田委員)

小須戸のほうでも実績をお持ちですので、非常に信頼してやっていただきたいという気持ちもあるのですが、全体のバランスの中で収支計画がこの時期ですと厳しい中でコロナの影響もあって、逆に下振れリスクのほう恐らく高いというのが現状だと思いますので、そのへんの借り入れの余力をしっかりと持っていただかないと、後々大変ですねというところがあったので、ちょっと質問させていただきました。

(株式会社福井開発)

ありがとうございます。本当に大変だと思っています。

(松川委員)

従業員のシフトの件ですが、いろんな見直しをして、シフトを組み替えて、従業員の労働時間を短くして、人件費を削っていかうとするお考えは、非常によく分かりました。

ただ資料の中に地元の雇用、地域の雇用を守りますとあります。そのへんについてのお考えは。

もう1点、このシフト表によると、従業員が同じ時間帯にいる人数が恐らく減らされるのだろうと。その場合の安全面、安心面について対処する方法があるのかどうか。

収支計画書の積算内訳書、これ今回に直接関係ないのかもしれませんが、施設設備保守点検費がありますが、令和元年度については11,789,446円、今年度が見込みで6,893,004円、この後5年間、大体令和2年度のレベルで推移するのですが、なぜ令和元年度と2年度これだけ差があるのか、参考までにお聞きしたいと思います。

(株式会社福井開発)

まず一つ目のシフトのところですね、人件費を今までよりも削って、それで安心・安全の運営ができるのかということについてお答えしたいと思います。

じよんのび館に私どもが昨年の11月に行った時に、だいぶ余裕があるなというのが私の率直な感想でした。例えば花の湯館、さぎの湯で同じような日帰り温泉を運営してまうけれども、花の湯館だったら1人でできるなというのを2人でやっているというようなところが、いろんなどころで見受けられました。ですので、私どもの基準からみて、これはじよんのび館は2人でやっているけれども、これは1人でできるという判断でその部分は1人でやってくださいというように、その部分のシフトを削ったというふうにして、人件費の削減を行いました。他の花の湯館、さぎの湯を運営しているレベルをじよんのび館に持って行って、それでやってもらっているということになりますので、安全面ということではいけば大丈夫かと考えております。

もう一つ、施設管理費についてですけれども、詳細のところの数字が入っておりません。なぜかといいますと、今までの経営体制のところでは、収支の出し方が我々と違って、全部一緒になっていました。どれがここの中の施設管理費なのかというのが分からない状況でした。台帳から全部ひっくり返して見ていきましたが、よく分からなかったもので、それで今、細かい項目は入れていません。ですので、今ここに私たちが示しているのは、全部一つ一つ何が必要になりますというのを全部入れてる状態で、これだけかかりますということで、令和2年度は680万円というふうに出しておりますので、何が減ったのかというところは、申し訳ないですが正確にお答えできない状況です。

(松川委員)

分かりました。あともう1点だけちょっと、これは数字の話ではないのですが、障がい者への配慮ということで、耳の不自由な方は筆談いたします等々書いてあるのは、非常に私も良いことだなと思っています。身体の方については対応されているようですけれども、例えば知的の障害の方であるとか、精神の方がいらっしゃるのかどうか分かりませんが、そのへんの対応は、どうお考えでおられますか。

(株式会社福井開発)

知的障がいをお持ちの方もお客様としていらっしゃっております。親御さんが大きいお子さんを夕方頃連れてきて、お風呂に入った後、食堂におられるお子さんが多いのですけれども、スタッフもちょっと離れて見守っているような形で対応しております。何かあればすぐ対応できるように、サポートできるようにしております。

(松川委員)

はい、分かりました。ありがとうございました。

(長井委員)

私、地域代表な者ですから、地域の話、先ほどからされているのですが、地域の人との交流、例えばどんなことをやっておられますか。

角田山麓まちづくりやっておられますし、あのところに多目的広場がございますね。あの利用計画がこの中にほとんど何も出ていないのですが、去年あたりは600人から800人、人が来て、キッズダンスとかいろいろやっておりますね、あそこの関りは今後どの

ような具合に考えますか。

(株式会社福井開発)

地域との関りというところで、今まだ当然不十分だということがたくさんあると思います。これから地域の方とも当然一緒にやっていかないと考えております。

今現在どういうことをしてきたかという、地域の生産者の方と今、声をおかけさせていただいて、例えば一番近くでいうと峰乃白梅のお酒を置く、それから先ほど説明させていただきました西蒲5蔵の日本酒風呂を5蔵の方と一緒にやってきたと。それからボイセンベリーを作っておられる方とボイセンベリー風呂をやってみたいとか、そういった形で地域の生産者の方と主にこれまで一緒に活動させていただいていました。

ご質問の多目的広場の利用計画なんですけれども、今のところ正直な話で言うと、そこまで手が回っていないというのが現状でございます。それでは全く考えていないのか言われると思いますけれど、まずはこの赤字を何とかしないといけないというのが、まずは目の前のやらないといけないことだと思っています。そこをやっていく中で多目的広場の利用計画など、また地域の方にご指導賜りながら進めさせていただければと思っています。

(長井委員)

今おっしゃっていることは十分分かるのですが、皆さんは指定管理を受けていろいろやっている訳ですが、区のほうでも区づくり予算等で多目的広場の草刈りから全て地元の方がやっているんですね。企業の皆さん利益的なものはいいんですけれど、あそこにもこの前草刈りを頼むということで、建設課から道路を草刈りしてもらった。あのところから下を見ると、公園ではキャンプとかできないのですが、夏は相当の子供さん達が遊んでいる。あのお客を皆さんのほうに入れたほうが、相当の利益になると思う。キッズダンスの時は西蒲区以外から相当来て、きょう私資料持ってきてないのですが、地元の方は非常に力を入れている。各コミ協とも。あの活用をもっと考えていかないと。利益ということになると、専門の先生方がおっしゃったので私も十分分かりますけれど、地元の人との交流、あそこには特にきつとあなた達にお話ししたことがあると思いますけれど、金子会長、分かります、ああいう人達を巻き込んだ、あの一帯、矢垂川のほたるもやっておりますから、そのへんをもう少し利用した考え方をいっていったら、もっと利益が上がるのではないかと、私はそんなふうに思うのですが、いかがでございますか。

(株式会社福井開発)

ありがとうございます。ぜひご指導いただきながら、進めさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。貴重なご提言ありがとうございます。

(桐生委員)

周りのほたるの里交流館とかをどういったふうに今後管理されていくのかなとお聞きしようと思いましたが、じょんのび館が大変そうなので、まずはそちらの再建のほうをと思っております。

(株式会社福井開発)

ありがとうございます。

(小田委員)

補足でもう1点いいですか。食堂の部分が今回の鍵になってくると思われますが、食堂は単独でも受け入れされるのですか。お風呂と切り離して。

(株式会社福井開発)

食堂のほうは、経営が変わる前は、土日はお断りしていたというふうにスタッフから聞きました。平日のみお食事の方は大丈夫ですよ、土日は混むので対応できないのでお断りですよというふうにしていたと聞いています。経営が変わってから、それでは需要のあるお客様に入っていただくことはできないのではないかとということで、今はお食事だけでもぜひどうぞということで、入口の前に大きくお食事のみでもご利用できますというふうに看板を大きく皆さんに分かるように建ててPRしております。

(小田委員)

そうやっていろいろお客を受け入れていかないと、特に食堂部門、ある意味、倍增計画みたいな形で作っていらっしゃるので、相当力を入れていかないと駄目なんだろうなと思ひまして、質問させていただきました。

(長井委員)

一つだけ、先ほど申し上げましたけれど、角田山麓の皆さんは、皆さん知っているとおりの桜の木などいろんな木を植えたりしている。水芭蕉を植えるだとか、やっている。ほとんど皆さんはボランティアでやっている。そういう催し物がある時は皆さんの方ももっと参加していただくということが一つと、あそこに県外ナンバーの車がだいぶ来ている。子供達を遊ばせたりしている。そういう人達をしつこいようだけど取り込むようなことを、やはり利益ということになれば、いろいろ問題がありますが、それなんかをもっと積極的に考えていったら、じょんのび館良いところだというふうになっていくのでは、そんなふうにするのですけれど。

(株式会社福井開発)

ありがとうございます。参考にさせていただいて、今後に繋げていけるようにしていきたいと思っております。

(山口委員)

私、今回運営に関越サービスが入ったということで、小須戸の花の湯館V字回復された実績からも今後いろいろ考えてされていくんだらうなということで、将来的にもプラスに改善されるということについても、きっと実現されるのではないかと期待しているところです。小川社長のほうからは、どちらかと言えば、今やはり赤字体質、コロナ禍なので、いかに経営を立て直すかというところが今回の主眼だったかと思ひます。地域の活性

化とか観光振興とかそういう視点でいくと、一つはやはり長井会長がおっしゃられましたとおり、今回の指定管理は風呂だけではなくて、ほたるの里公園、交流館も含めてということですので、特に公園、また改めて先日見せていただいた時に、もったいないと思いました。きれいにしてくださるのは建設課にお願いしないと、そこまでは皆さんの仕事でないというところはあると思いますけれど、いい季節になれば、いろんな活用も考えていただければなというふうに思ってます。そのへん考えてられるのかも知れないんですけども、地域の祭りみたいなものができるのであれば、物販的なものを出したりとか、お風呂もプラスαで、もっと安く提供したりとか。じよんのび館は、私も角田山登山してから帰りに寄ったのですけれども、小須戸のほうでは確か里山のほうを歩いてくると割引とか（スタンプラリー）されているので、ぜひ西蒲区にとっても角田山というのは、下りてきてすぐある好立地にありますので、そのへん考えていらっしゃると思うんですけど、そのへんなんかもコメントあったらお聞かせいただきたい。リピーターを取り込むということで、地域と繋がるとなると、まずは狭いエリアがターゲットなのかなとつい思いがちなんですけれども、登山というキーワード、もう一つ、西蒲てお酒というキーワードが来ると、車で来ないと飲めないみたいな、そういう交通手段の部分なんかも、少し将来的な部分でもいいので、発展的なお考えがあったら、せっかくの機会なので、お聞かせいただきたいなと思います。

あと、冒頭のろ過のポンプは予算付かないと難しいのですよね。

（株式会社福井開発）

それが壊れると、この5年は全く営業ができないと。

（山口委員）

費用分担としてはどう。

（産業観光課長）

リスクの分担としては、施設の管理者の我々で、設置者の市になります。

（山口委員）

そういうことで私から区役所をお願いして、以上です。

（株式会社福井開発）

ありがとうございます。まず、登山のところですけども、花の湯館で、里山スタンプラリーという、菩提寺山を歩いて花の湯館に降りていただいて、山頂で写真を撮っていただくと花の湯館が割引になります。

登れば登るだけ皆さんで健康になりましょうということで、山に登って温泉に入って汗を流して、そのあと食堂のカフェのほうで地元の食材を使ったご飯を食べていただいて、登れば登るだけ健康になりますよというのが大変好評をいただいておりますので、先ほどおっしゃっていただいたように角田山登山の方を取り込む形で、地域資源を活かした皆さんに喜んでいただけるような企画も今、考えております。



(長井委員)

そのへん地元の人とのタイアップしたほうがいいですよ。前の市長も現在の市長も角田山は年間 15 万人からの人間が登るんだと。新潟市の中で山を持っているのは西蒲区だけなんです。いつも来られると、市長そういうことをおっしゃっていたものですから。ぜひ利用していただきたいし、しつこいですが、地元の自治会長とかコミ協とかあるものですから、その人たちの繋がりを持っていくと。峰岡、松野尾、角田と 3 つのコミ協が一緒になって、いろんなのをやる、今回は今年度中に建つというふうに話を聞いておりますが、皆さんも含めた PR 看板ができる。地元の人もいろんな細かいことでそうやってますので、それをもっと取り入れていただきたいと。皆さんの利益を上げなければいけないことは当然のことなんですけども、しつこいようなんですけれども私はお願いなので、そのへんだけよろしくお願いします。

(山口委員)

1 点だけ、個人的な興味で。お風呂のサウナの水風呂の水は自然な水ですか。

(株式会社福井開発)

角田山の伏流水になっております。

(山口委員)

ですよ。私あそこの水風呂のファンで、今、若者達がコロナでアウトドアになってキャンプをしたりとかする時に、結構サウナ好きな若者達が増えてきて、テントサウナみたいなものを始めたりしているんですよ。セットになるのは何なんだっていうと、結構湖に飛び込む連中もいるんだけれども、僕はサウナに入った後に、あの水って違うよねっていうのがすごく印象に残った。そういう人もいますので、今後 PR いただければと。

という延長線で、これも水道水でなくて、「じょんのび水」といって売れる、になるといいなという提案を含めて。そのへんは区からきっと補助金が出ると思いますので。

(株式会社福井開発)

ありがとうございます。サウナに関してですけれども、水風呂に関して、今まで表示がなかったのですけれども、角田山の伏流水を水風呂で使っていますとの表示がなかったのですけれど、今は全部の水風呂のところに角田山の伏流水ですという表示を入れました。それで、山口委員がおっしゃっていただいたような喜んでいただいているサウナ利用者の方が増えております。

(山口委員)

きっとそれは武器になるのではと思ってるんで。

(株式会社福井開発)

それと、長井委員のほうからお話ありました、自治会長さんであるとか、コミ協さんであるとか、確かに今までそういったところにご挨拶に行くとか、一緒にお話しさせていた

だく機会がなかったので、今後足を運ばせていただいて、地域と一緒にってじょんのび館、それからほたるの里公園を盛り上げていくようにやっていきたいと思ひます。

(長井委員)

会長にも言っておきますので、ぜひ早めに段取ってください。お願いします。

(株式会社福井開発)

ありがとうございます。

(産業観光課長)

山口委員から先ほどご質問がありました、お酒というのがキーワードで、交通手段、今度どのように考えていかれますかというご質問に対してのご回答ありましたら、よろしくお願いします。

(株式会社福井開発)

申し訳ありませんでした。今ちょうど区のほうでぐる～んバスが走られておりますので、ぐる～んバスのほうを館内でもチラシを掲示して、フロントでもお客様にご案内させていただいております。今までマイクロバスがじょんのび館にありまして、それで送迎して宴会をやっていただいております。それをもっと使えるのではないかというご意見もお客様からいただいたこともあるんですけど、送迎バスをいくら走らせても赤字になるんですね。送迎の部分については、独自にじょんのび館がやっていくというのは難しい状況です。そういったところは、区のぐる～んバスであるとか、公共交通機関に頼らざるを得ないのかなというふうに考えております。

(山口委員)

コストがかかりますので、自力でやるのは、ほぼ無理だろうなと思っております。ただ一方で、ご承知のとおりカーブドッチ、ヴィネスパは宿泊もありますので、新潟駅南口あたりから予約で、女性陣は、あそこはエステみたいなものもあるので、結構使われていると聞いています。コスト面で難しいと思ひますが、今後ということで、またご検討いただければと思ひます。

(株式会社福井開発)

ありがとうございます。

(産業観光課長)

ほかご質問、ご意見ございますでしょうか。

(長井委員)

先ほどのぐる～んバス、ぜひ使ってください。この前、区長も西蒲区の説明でも大いに使ってほしいと宣伝しておりますし、各会議ごとに役所のほうもしておりますし、各コミ

協もチラシを持って宣伝しておりますし、私ども自治協も力を入れようということで、自治協単独でぐる～んバスに乗って回ろうという話もやっておりますので、よろしくお願いいたします。

(株式会社福井開発)

よろしくお願いいたします。

(産業観光課長)

追加ございませんでしょうか。

(なし)

(産業観光課長)

それでは、質疑を終了させていただきまして、申請者の皆様には退室をお願いいたします。なお、本日の評価結果につきましては、後日、文書にて通知させていただきます。大変お疲れ様でございました。

(株式会社福井開発 退室)